

令和6年度 第1回八千代市観光振興懇談会 概要

- 1 会議名 令和6年度第1回八千代市観光振興懇談会
- 2 日時 令和6年10月16日(水) 午後2時30分から午後4時00分まで
- 3 場所 八千代市役所 旧館4階 第2委員会室
- 4 議題 (1) 八千代市観光振興計画の取組状況について
(2) 令和6年度の取組事業について
- 5 出席者 **【委員】**
八千代商工会議所 副会頭 田久保 渡
八千代商工会議所 事務局長 高橋 英治
八千代市農業協同組合経済部 部長 村山 茂樹
株式会社JTB千葉西支店 支店長 加藤 雄一
一般社団法人八千代市観光協会 会長 杉山 智基
京成バラ園芸株式会社ガーデン部 部長 渡邊 智裕
秀明大学観光ビジネス学部 学部長・教授 市川 友英
秀明大学観光ビジネス学部 准教授 樋口 誠司
市 民 委 員 柏木 米子

【事務局】
経 済 環 境 部 次 長 石原 雄二
商工観光課観光推進室 室長 田中 正孝
商工観光課観光推進室 副主幹 川村 正三
商工観光課観光推進室 主任主事 川田 康介
商工観光課観光推進室 主任主事 長谷川 恵梨
- 6 公開又は非公開の別 公開
- 7 傍聴人 3人
- 8 審議内容 以下のとおり

議題 1 八千代市観光振興計画の取組状況について

1 内容

事務局より以下の2点の報告をした。

(1) 令和4, 5年の八千代市観光振興計画の主要施策の取組について

八千代市観光振興計画に示す六つの基本方針にぶら下がる主要施策について、順に令和4, 5年度の取組について説明した。

「バラを軸とした観光振興への推進」など新型コロナウイルス感染症が原因で、具体的な取り組みができていない事業がある。

(資料1「八千代市観光振興計画における主要施策の取組状況」を使用)

(2) 令和5年度末の八千代市観光振興計画の数値目標値について

八千代市観光振興計画に掲げる五つの数値目標について、令和5年度末の実績を説明した。

「八千代市観光推進室HPのアクセス数」、「ココシルやちよのアクセス数」、「八千代市観光推進室YouTubeの再生回数」の三つについては、目標値を達成しており、「京成バラ園の観光入込客数」も概ね目標値を達成している。

(資料2「八千代市観光振興計画 数値目標管理」を使用)

2 委員からの意見・発言

(1) 事務局からの報告事項に対して、委員からの意見は、特になし。

(2) その他意見として会長及び委員より以下の3点の発言があった。

ア 京成バラ園の交流人口の増加策の推進について

ここ数年は、春秋のイベントは不思議の国のアリスをテーマに様々なコンテンツを用意して実施しており、本秋は、「パーティーオブローズフルモーメント」というテーマで実施している。

イ 観光推進を図る八千代市観光協会との更なる協力・連携の強化について

観光推進室と八千代市観光協会で定期的に情報交換をして方向性がぶれないようにしている。

イベント期間中に交通渋滞などが起きる等の課題もあるので、今後、もう少しハード面について八千代市と協議をし、経済効果が波及するように考えていきたい。

ウ 新たなコンテンツについて

彼岸花は、桜・バラに続く素晴らしいコンテンツとして、今後盛り上げていきたい。

また、そば畑のそばの花も非常に見ごたえのあるものなので、花の観光都市のさらなるコンテンツとして取り組むのも面白いと思う。

議題 2 令和 6 年度の取組事業について

1 内容

事務局より以下の令和 6 年度の上半期、下半期の取組について説明した。

(1) 上半期

ア 源右衛門祭, 八千代ゆりのき台つつじ祭り, 緑が丘ローズハーツふれあいフェスタ
及び京成バラ園のイベントを後援

イ 第 50 回八千代ふるさと親子祭

八千代ふるさと親子祭実行委員会と八千代市との共催で実施

過去最大規模となる 8, 888 発の打ち上げ花火を実施。約 20 万人が来場

(2) 下半期

ア 市民等を対象とした無料の新川乗船体験を予定

日時：11 月 2 日（土）～4 日（月）

イ 令和 6 年度版八千代ふるさと親子まっぷの作成

発行部数 2 万部, 令和 7 年 3 月中に完成予定

ウ 「ダイヤモンド富士でバレンタイン」イベントを計画中

2 委員からの意見・発言

(1) 会長及び委員より第 50 回八千代ふるさと親子祭について以下の意見があった。

ア 花火大会で市外から人を呼び込むためには, 1 万発以上の規模からと言われている。今大会の来場者数を見ると, 市外からも多くの人が来ていると推測できるので, 今後もこの 8, 888 発規模を継続していただきたい。

イ 今年度の八千代ふるさと親子祭は, 50 回記念ということで多くの企業に協賛いただき, 20 万人もの集客につながった。事故もなく開催できたことに安心している。今後は, 主催者として安全も考慮しつつ, 八千代市を好きになってもらえるような企画づくりを皆様と協議して考えていきたい。

(2) その他意見として, 委員より以下の発言があった。

ア 「新川千本桜の河津桜」の下に菜の花を植えると, ピンクと黄色のコントラストができ, もっと見ごたえのあるものになると思う。

また, 高齢化が進んでおり, 運転免許証返納者が多いので, 高齢者が少しでも外に出られるように, 桜を見に行くためのツアーバスや市内巡回バス等を検討して頂きたい。

イ 上記の発言を受け, 事務局より以下の回答をした。

(ア) 新川千本桜は, 河川用地の一部を占用して桜を植えている。菜の花を下に植えるという点, 占用面積が広がり管理の面から現実的には厳しい。担当の部署にはそのような意見があったことは伝える。

- (イ) ツアーバスについては、道の駅やちよにバスが入れるようなところを作るべきという意見かと思うので、リニューアル時にそのような意見を踏まえて駐車場整備を検討したい。
- (ウ) 観光地や食事処などを巡るツアーバスは、農業・商工業・観光の連携ができ、八千代市の経済活性化、各事業者のメリットにつながる。燃料費の高騰、各施設の受け入れ体制等の課題もあるが、プロフェッショナルの皆様と共に検討できればと思う。

その他

1 内容

事務局より以下の2点について報告した。

(1) 八千代市観光振興計画の延伸について

ア 新型コロナウイルス感染症によるイベントの自粛などにより、八千代市観光協会との連携強化など十分な推進が見られない事項があるため、計画期間を延伸することを考えている。

イ 延伸にあたっては、同計画に掲げる観光ビジョンやキャッチコピー、基本方針、主要施策などは修正せず、期間を1年間延伸するのみで検討している。

ウ 延伸期間中は、八千代市観光協会との連携強化について重点事項として取り組んでいく予定。

(2) 全国さくらシンポジウム2026 in 八千代について

ア 全国さくらシンポジウムを令和8年4月に八千代市で開催予定

イ 全国さくらシンポジウムとは、「日本花の会」が桜の名所のPR、桜の維持保全活動推進、住民の桜に対する意識の向上を目的に自治体との共催で開催しているもの。

ウ 早期にシンポジウムの実行委員会を立ち上げて、開催に向けた準備を進めていく予定。

2 委員からの意見

「八千代市観光振興計画の延伸について」、「全国さくらシンポジウム2026 in 八千代」の両件について、了解・意見なし。

各委員からの観光振興に対する意見・観光関連の取り組み紹介

会長からの呼びかけにより、議題及び報告事項を踏まえ、観光振興に対する意見、各所属・組織の観光関連の取り組み等を各委員が順に以下のとおり発言した。

- 1 観光資源を磨き上げるためには、観光資源と観光資源をつなぎ合わせることや頑張っている団体・個人をつなぎ合わせる等の取り組みが必要となる。
そのためには、中心となって進めるヘッドクォーターのような組織や仕組みが必要となる。
- 2 何か一つきっかけがあれば、みんなで一致団結して八千代の特色を観光で活かしていけると思う。商工会議所としても力一杯推進していければと改めて感じている。
- 3 桑橋・寺台・高本地区で観光農園の準備が進んでおり、一・二年後位に観光農園が整備される予定なので、完成した際には、皆様の力を借りて宣伝・集客していきたい。
この会に参加して皆様と連携できることに少しでも取り組んでいきたいと考えているので、今後も宜しくお願ひしたい。
- 4 観光資源を生かしながら地域を成長していくことに力を入れて活動しているので、今日の意見をしっかりと形に変えられるように努力していきたい。
また、この千葉西エリアは宿泊施設が乏しいので、なるべく日帰り、マイクロツーリズムを増進させるためにも、農商工連携などストーリー性のある観光プランを作りながら、お客様が周遊できるような仕組みを一緒に考えていきたい。
- 5 八千代市の歴史に関する事業や四季折々の花が咲く時期に、交流人口が増えるような事業を展開しているが、交通渋滞や来場者の交通手段の確保等の課題があるので、やはり地域の経済に繋がるような仕組みを作らないといけないと感じている。
来年、八千代市観光振興計画もリニューアルの準備に入ることなので、ハード面と、ソフト面がうまくつながるような計画ができればいいと期待している。
- 6 京成バラ園では、閑散期である夏・冬の集客をいかに底上げできるかを課題として捉え、イベント等を実施している。
また、その課題解決のため、閑散期の夏には全国各地の動植物園、テーマパーク等を視察し、集客のための施策を学んでいる。
個人的には、市をまたいでの連携もありではないかと考えている。そのような点で、八千代市に他市の方との調整をお願いすることになった際はお願いしたい。
- 7 学生に授業をする上で、ここ一・二年意識していることがある。一つは若者目線で考えてもらうこと。
もう一つは、八千代市のことを全く知らない学生に、よそ者目線で八千代市のこと考えてもらうこと。その取り組みとして、バラ園、そば畑、JA八千代市を題材として活

動をしている。

学生の意見を聞いてみたい等の要望があれば、協力できることがあるのでお声掛けいただきたい。

- 8 シビックプライドを高めるためには、子どものときからのいろいろな人との付き合いやボランティア活動等の経験が必要だと思う。そのためには、商工観光課だけでなく、市役所内で連携していくことが大切と感じている。

このような会議で話ができることもすごいことだが、幼稚園、小・中学校で地道にシビックプライドを育む活動をしていくことも非常に大切だと思う。

- 9 現在、インバウンド、外国人観光客数が史上最高のV字回復を見せており、宿泊者の四人に一人が外国人になりつつある。

その波が、いつ八千代市に来るのかは、誰にもわからないので、桜、バラ、彼岸花、その他のコンテンツ等、早急にいろいろ磨いておかなければ、対応できないと感じている。

今後も、そういったものに対し、どのように対応するのかということも、皆様と相談していきたいと感じている。